

令和4年度 事務事業総点検表

危機管理推進

| ①所属名 | 事業概要(全体) | | | | | 活動の状況(アウトプット) | | | 投入コスト(インプット) | | | | 成果(アウトカム) | | | | | | 評価及び次年度に向けた課題・改善など | | | | | |
|--------|-----------------------------------|-----|---------------|---|---------------------------------------|---|---------------------------|---------------------|--------------|---------|--------------|--------|----------------|------------------|---|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------|-----|---|---|
| | ②事務事業名 | ③期間 | ④事業の実施主体 | ⑤事業目的 | ⑥事業内容 | ⑦活動指標(アウトプット指標) | | | ⑧事業費 | | | ⑨人工 | ⑩成果指標(アウトカム指標) | | | | | | ⑪評価 | ⑫評価理由 | ⑬今後の課題と課題解決に向けた取組内容 | | | |
| | | | | | | 指標名 | 前年度の目標値 | 実績値 | 合計 | 予算額(千円) | 前年度からの総額(千円) | | 決算額(千円) | 正職員(人) | 非常勤職員(人) | 指標名 | 前年度の目標値 | 直近3か年の実績値 | | | | 実績値 | 達成度 | |
| 危機管理総室 | 危機管理意識啓発事業 | - | 市(直営) | 危機管理に関する知識及び意識の向上 | 危機管理研修 | 危機管理意識向上のための取組み | 1回 | 1回 | 一般 | 39 | - | 1.1 | 0.0 | 危機管理研修を受講した職員の割合 | 100% | 97% | - | 92% | 99% | A | A | | | 全職員にエスナビによる研修を実施し、想定される危機の予防策や危機発生時の迅速な対応方法の基本的事項を定めた「危機管理指針」の理解を図ることができたため。 |
| 危機管理総室 | ①水防協議会委員報酬 ②水防活動事業 | - | 市・補助等(直営・交付先) | ①水防計画及び水防に関する重要事項の調査・審議 ②市内主要河川の水防活動実施等 | ①静岡市水防協議会の運営 ②市内主要河川の水防活動 | ①静岡市水防協議会の開催回数 ②水防演習の開催数 | ①1回 ②1回 | ①1回 ②1回 | 一般 | 4,929 | - | 2,342 | 2.0 | 0.3 | ①水防団員数 ②水防演習参加者数 | ①1,819人(入団員数:76人) ②400人 | ①1,743人(入団員数:37人) ②384人 | ①1,767人(入団員数:90人) ②中止 ③1,666人 | ①2,128人(入団員数:102人) ② ③1,666人 | ①1,705人(入団員数:20人) ②604人 | ①A ②S | A | ・水防団員の高齢化が進み、団員数が減少傾向となっているが、水防団の活動を紹介したチラシやHP等において団員募集を行うことで、目標値には達しなかったが、新たに20名の団員を確保できたため。 ・目標設定時は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、強い行動制限が求められていたが、訓練実施時はマスク着用の見直しなど行動制限が緩和されたため、参加者数が目標値を大幅に上回ったが、状況変化による要因が大きいと判断した。 これらを総合的に判断しA評価とした。 | ・若い世代の団員を確保するため、水防団と協力し水防団の必要性や活動内容を広く周知するとともに、団員数の減少に歯止めをかけるため、水防活動に対するモチベーション向上に取り組みなど、引き続き団員の確保に努めていく。 ・水防団員の高齢化が進んでおり、今後も水防技術を確実に継承するため、効果的な訓練を継続的に実施していく。 |
| 危機管理総室 | 水防施設維持管理事業 | - | 市(直営) | 水防活動の円滑に実施するための、水防団拠点施設等の維持管理 | 水防団拠点施設等の維持管理 | 水防車両点検回数 | 各分団1回 | 各分団1回 | 一般 | 2,412 | - | 2,247 | 0.5 | 0.2 | 施設等の重大な不具合発生件数 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | A | A | 水防活動において、継続的な点検・修繕を行うことで、拠点施設等に重大な不具合の発生がなかったため。 | 災害時に拠点施設等を確実に機能させるよう、継続的に点検・修繕を行い、不具合の発生を未然に防いでいく。 |
| 危機管理総室 | 水防団交付金 | - | 補助等(交付先) | 水害から市民の安全を守り被害軽減を図るため、水防団に運営費等を交付 | 水防団本部及び水防団分団(9分団)運営費等 | ①団員報酬の支払い ②水防団の円滑な運営・事業実施 | ①5回(出動報酬4回、年額報酬1回) ②実施 | ①5回 ②実施 | 一般 | 7,110 | - | 3,274 | 0.5 | 0.5 | 運営経費の支払い事故件数 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | A | A | 水防団が円滑に運営できるよう、適切に交付金事務を行うことができたため。 | 今後も適切な交付金事務を行っていく。 |
| 危機管理総室 | ①防災会議委員報酬 ②防災対策推進事業 ③防災訓練事業 | - | 市(直営) | ①静岡市地域防災計画の作成及び確実な実施、地域防災に関する重要事項等の審議 ②市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、災害対策を推進 ③災害時において迅速かつ的確な応急対策を実施するため、防災訓練を実施 | ①静岡市防災会議の運営 ②災害対策事業の推進 ③防災訓練の実施 | ①静岡市防災会議の開催 ②地域FMを利用した防災啓発放送 ③総合防災訓練、地域防災訓練、津波避難訓練の実施 | ①1回 ②11回 ③各1回 | ①1回 ②11回 ③各1回 | 一般 | 28,532 | - | 28,006 | 3.5 | 0.5 | ①総合防災訓練参加者数 ②地域防災訓練参加者数 ③津波避難訓練参加者数 | ①5,610人 ②65,000人 ③5,610人 | ①5,610人 ②55,351人 ③4,854人 | ①3,992人 ②34,931人 ③2,532人 | ①67,387人 ②131,522人 ③13,683人 | ①35,689人 ②82,698人 ③11,674人 | ①S ②S ③S | A | 目標設定時は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための強い行動制限が求められており、訓練内容や参加者を制限して実施することを前提に目標値を設定した。 一方で、訓練実施時には一定の距離の確保やマスク着用の見直しなど行動制限が緩和されていたため、安全に配慮して訓練への参加を呼びかけたことから、訓練参加者数は目標値を大幅に上回ったが、状況変化による影響が大きいことを考慮しA評価とした。 | 自主防災組織など地域主体の訓練については、防災意識の向上や迅速な避難行動を目的に訓練を実施してきた。 一方で、訓練の内容に大きな変化はなく、また、参加者の固定化などが課題となっていることから、今後は自主防災組織と連携・協働し、訓練参加へのモチベーションを高め、より多くの人に訓練に参加してもらえよう取り組んでいく。 |
| 危機管理総室 | 国民保護推進事業 | - | 市(直営) | 武力攻撃事態等から市民の生命、身体の安全を確保するため、静岡市国民保護計画を推進 | 国民保護に関する理解の向上 | ①出前講座開催回数 ②国民保護を周知するための広報媒体 | ①1回 ②3媒体 | ①1回 ②3媒体 | 一般 | 604 | - | 0 | 0.7 | 0.0 | 市ホームページへの訪問者数 | 120件 | 73件 | 116件 | 92件 | 119件 | A | A | 国民保護に関する講座を開催するほか、ウェブ掲載等による周知を行い、目標値を概ね達成できたため。 | 市民に国民保護の理解を深めてもらうため、講座や市ホームページ、パンフレットにより周知しているが、より関心を持ってもらうよう身近な広報紙やラジオなども活用し、積極的に周知・啓発を図っていく。 |

| ①所属名 | 事業概要(全体) | | | | | 活動の状況(アウトプット) | | | 投入コスト(インプット) | | | | 成果(アウトカム) | | | | | | | 評価及び次年度以降に向けた展開・改善など | | | | | | | |
|------------|----------|----------------|----------|--------------|--|--|--|---|---|-------------|---------------------------|-------------|----------------|-----------------------------|-----|---|---|--|--|--|--|---|----------------------|-----|--|--|---|
| | ②事業事業名 | ③期間 | ④事業の実施主体 | ⑤事業目的 | ⑥事業内容 | ⑦活動指標(アウトプット指標) | | | ⑧事業費 | | | | ⑨成果指標(アウトカム指標) | | | | | | | ⑩評価 | ⑪評価理由 | ⑫今後の展開と課題解決に向けた取組内容 | | | | | |
| | | | | | | 指標名 | 当該年度 の目標値 | 実績値 | 合計 | 予算額 (千円) | 前年度 からの 繰越額 (千円) | 決算額 (千円) | 正職員 (人) | 会計 兼任 任用 職員 (人) | 指標名 | 当該年度 の目標値 | 直近3か年の実績値 | | | | | | 当該年度の目標値の算出根拠 | 実績値 | 達成 度 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | R3 | R2 | R1 | | | | | | | | |
| 危機管理 総室 | 7 | 防災施設維持管理事業 | - | 市 (直営) | 防災施設の適切な維持管理を実施し、円滑な防災体制を確保 | 防災施設の点検 | 防災倉庫更新数 | 1件 | 0件 | 一般 | 199,978 | - | 120,451 | 1.0 | 0.0 | 防災倉庫の重大な不具合発生件数 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 災害時に防災倉庫を確実に使用できるよう、防災倉庫に重大な不具合が発生しないことを目標値として設定した。 | 0件 | A | A | 老朽化した防災倉庫の修繕や改修を実施することで、防災倉庫に重大な不具合の発生がなかったため。 | 防災倉庫の重大な不具合を防ぐため、引き続き、防災倉庫の修繕や改修の維持管理を行っていく。 | |
| 危機管理 総室 | 8 | 防災教育事業 | - | 市 (直営) | 災害時における的確な判断力や防災知識・技術の向上を図るため、防災教育事業を実施 | 自主防災組織のリーダー等育成のための研修及び防災講演会等の実施 | 出前講座等開催数 | 150回 | 148回 | 一般 | 1,033 | - | 90 | 0.4 | 0.0 | 出前講座等参加人数 | 10,000人 | 9,833人 | 8,095人 | 14,678人 | 新型コロナウイルスの感染拡大による影響を考慮し、感染拡大後の令和3年度の実績を上回るよう、目標値を設定した。 | 7,469人 | B | A | 新型コロナウイルスや台風15号の影響により、出前講座1回あたりの参加者は減少したことで、目標値は達成できなかったが、講座の開催回数は概ね目標値を達成しており、防災に関する必要情報を市民に周知啓発できたため。 | 今後も継続的に出前講座を実施することで防災意識の向上が図られるよう取り組んでいく。また、若い世代の方にも防災に関する情報が提供できるよう講座内容をウェブ配信するなど効果的な方法を検討していく。 | |
| 危機管理 総室 | 9 | オフロードバイク隊活動事業 | - | 市 (直営) | 災害時において迅速かつ適切な応急対策を実施するため、初期情報の収集・伝達 | オフロードバイク隊の活動、バイク等の維持管理 | ①訓練回数 ②点検回数 | ①7回 ②1回 | ①8回 ②1回 | 一般 | 2,864 | - | 1,121 | 0.4 | 0.0 | ①訓練回数 ②バイク隊員数 | ①7回 ②32人 | ①7回 ②32人 | ①7回 ②36人 | ①15回 ②33人 | ①オフロードバイク隊の更なるスキルアップを図るため、年間計画に基づく訓練実施回数を目指して設定した。 ②円滑な情報収集体制を維持するため、昨年度の隊員数をもとに目標値を設定した。 | ①8回 ②32人 | ①S ②A | A | 計画どおりに訓練を実施したことで、災害時における現地調査等に必要スキルが習得できた。また、定年により名が除隊したが、新規採用研修等にバイク隊への入隊を積極的に働きかけたことで新たに2名が入隊するなど必要な体制を維持することができたため。 | オフロードバイク隊員数は維持できているが、一部の年齢層に偏っているため、今後も若手職員を中心に入隊を積極的に働きかけることで、安定した体制を維持できるよう取り組んでいく。 | |
| 危機管理 総室 | 10 | 感震ブレイカー設置費補助事業 | H29 | - | 補助等 (交付先) | 大規模地震発生時における電気火災の発生を防止するため、市内の住宅に感震ブレイカーを設置する世帯に補助 | 感震ブレイカー設置経費の補助 | 感震ブレイカー設置件数 | 540件 | 229件 | 一般 | 12,300 | - | 5,471 | 1.0 | 1.5 | 感震ブレイカー設置件数 | 540件 | 274件 | 362件 | 494件 | 令和7年度までに4,800件を達成するため、事業計画に基づく目標値を設定した。 | 229件 | C | B | 感震ブレイカーの設置件数が減少傾向であるため、延焼火災の危険性などをより多くの方に理解してもらうよう出前講座や各種イベントの機会をとらえ、より一層の周知啓発に取り組む。また、住宅メーカー等との連携を強化し、機器の設置を積極的に呼びかける。 | 感震ブレイカーの設置件数が減少傾向であるため、延焼火災の危険性などをより多くの方に理解してもらうよう出前講座や各種イベントの機会をとらえ、より一層の周知啓発に取り組む。また、住宅メーカー等との連携を強化し、機器の設置を積極的に呼びかける。 |
| 危機管理 総室 | 11 | 防災必需品備蓄事業 | - | 市 (直営) | 大規模災害に備え、被災者に対する物資等を備蓄 | 非常食料、生活必需品の備蓄 | 当年度購入数 ①アルファ化米 ②ビスケット ③携帯トイレ ④毛布 | ①105,600食 ②95,100食 ③339,500枚 ④3,000枚 | ①105,600食 ②95,100食 ③339,500枚 ④3,000枚 | 一般 | 32,202 | - | 29,924 | 1.0 | 0.0 | 整備率 ①アルファ化米 ②ビスケット ③携帯トイレ ④毛布 | ①100% (527,900/527,900食) ②100% (479,600/479,600食) ③56.6% (457,200/807,200食) ④100.6% (160,622/159,697食) | ①100% (527,900/527,900食) ②100% (479,600/479,600食) ③50.4% (407,200/807,200食) ④98.7% (157,622/159,697食) | ①100% (527,900/527,900食) ②100% (479,600/479,600食) ③35.2% (357,200/1,015,000食) ④96.8% (154,622/159,697食) | ①100% (527,900/527,900食) ②100% (479,600/479,600食) ③38.1% (307,200/807,200食) ④94.9% (151,622/159,697食) | 平成25年9月に公表された静岡県第4次被害想定を受け、想定避難者人数に基づく備蓄必要数の整備率を目標値とした。携帯トイレは、老朽化している既存の仮設トイレの代替として、令和11年度までに整備率100%となるよう目標値を設定した。毛布は、令和4年度に整備率100%となるよう、計画に基づく目標値を設定した。 | ①100% (527,900/527,900食) ②100% (479,600/479,600食) ③59% (476,500/807,200食) ④100.6% (160,622/159,697食) | ①A ②A ③A ④A | A | 必要な物資を計画どおりに更新・整備することができた。特に、携帯トイレについては、令和4年9月の台風15号災害の際に、断水対策として使用したことから、速やかに不足分を補充することで、次の災害に備える体制を整備できたためA評価とした。 | これまで災害用備蓄については、必要な数量を計画的に整備することを主眼に実施してきた。一方で、災害時における多様なニーズに対し、被災者の視点に立ったきめ細かな支援が求められているため、市が整備すべき備蓄品について、ニーズに即したより最適なものを選定するよう見直ししていく。 | |
| 危機管理 総室 | 12 | 自主防災活動支援事業 | - | 補助等 (交付先) | 大規模災害に備え、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対して防災資機材の購入費等を補助 | 自主防災組織に対する防災資機材の購入費等への補助 | 防災資機材の購入費補助申請件数 | 550件 | 505件 | 一般 | 50,000 | - | 49,137 | 1.0 | 0.0 | 防災資機材の購入費補助交付件数 | 550件 | 534件 | 613件 | 502件 | 過去3年間の申請実績の平均を目標値として設定した。 | 505件 | A | A | 概ね目標どおりの申請件数となり、自主防災組織が必要とする防災資機材の整備・充実が図られたことで、地域防災力の向上につながられたため。 | 台風15号の教訓を踏まえ、自主防災組織の体制強化を図るため、令和5年度から、防災資機材の補助対象にモバイルバッテリーやパソコン、手押し井戸ポンプなどを追加するとともに、補助上限額を見直した。今後もニーズを的確に把握し必要な支援を継続的に行うことで、地域防災力の向上につなげていく。 | |

| ①所属名 | 事業概要(全体) | | | | | 稼働の状況(アウトプット) | | | 投入コスト(インプット) | | | | | 成果(アウトカム) | | | | | | 評価及び次年度以降に向けた課題・改善など | | | | |
|--------|-----------------|---------|----------|---|---------------------------------------|------------------|--------------|--------|--------------|-------------|---------------------------|-------------|----------------|-----------------------------|------------------|--------------|-----------|----|----|----------------------|-------|--|--|---------|
| | ②事業事業名 | ③期間 | ④事業の実施主体 | ⑤事業目的 | ⑥事業内容 | ⑦活動指標(アウトプット指標) | | | ⑧事業費 | | | | | ⑨成果指標(アウトカム指標) | | | | | | ⑩評価 | ⑪評価理由 | ⑫今後の課題と課題解決に向けた取組内容 | | |
| | | | | | | 指標名 | 当該年度 の目標値 | 実績値 | 合計 | 予算額 (千円) | 前年度 からの 繰越額 (千円) | 決算額 (千円) | 正 職員 (人) | 会計 年度 任用 職員 (人) | 指標名 | 当該年度 の目標値 | 直近3か年の実績値 | | | | | | 実績値 | 達成 度 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | R3 | R2 | R1 | | | | | |
| 危機管理総室 | 津波避難ビル指定促進事業 | H24 - | 補助等(交付先) | 津波避難ビルの指定を進め、津波避難場所を確保するため、津波避難ビル整備に係る経費を補助 | 津波避難ビルの整備に要する経費(屋上フェンス・外階段の設置等)の一部を補助 | 津波避難ビル補助件数 | 1件 | 0件 | 一般 | 10,000 | — | 0 | 1.0 | 1.0 | 津波避難ビル補助件数 | 1件 | 1件 | 1件 | 2件 | 0件 | C | 津波避難ビルの補助の活用について相手方の意向を踏まえビル指定に向け準備を進めていたが、急遽、事業者から施設整備に関する意向が変更されたため、目標値を達成することができなかった。 | 今後は事業者との事前協議の実施時期をできる限り早めるとともに、相手方の意向を随時確認し、補助活用に係る意向が変更された場合にも対応できるよう見直すことで、確実な補助実績につなげていく。 | |
| 危機管理総室 | 同報無線デジタル化整備事業 | R4 - R8 | 市(委託) | 同報無線の更新を行いデジタル化することにより、市民へ伝わりやすい効果的な情報伝達手段を整備 | 同報無線の更新 | 同報無線デジタル化整備工事の実施 | 現地調査実施 | 現地調査実施 | 一般 | 57,000 | — | 0 | 1.0 | 1.0 | 同報無線デジタル化整備事業の実施 | 現地調査実施 | - | - | - | 現地調査実施 | A | 半導体不足の影響により、同報無線の機器製造は遅れたが、デジタル化整備に伴うスケジュールに影響はなく、また、現地調査を確実に実施できたため。 | デジタル化整備の進捗管理を徹底するとともに、不測の事態にも対応できるよう工程管理を工夫することで、スケジュールどおりに完了できるよう進めていく。 | |
| 危機管理総室 | 災害情報ポータルサイト構築事業 | R4 - R4 | 市(委託) | 災害関連情報の一元的な提供 | 市民が必要とする災害関連情報を整理し提供するための、ポータルサイトの構築 | サイトの構築 | 構築 | 構築 | 一般 | 4,730 | — | 4,730 | 1.0 | 0.0 | サイトの構築 | 構築 | - | - | - | 構築 | A | 気象情報や緊急情報などを分かりやすく提供できる「防災情報ポータルサイト」を構築し、市民が災害時に必要とする災害関連情報を提供できたため。 | より多くの市民に必要な災害関連情報が提供できるよう、積極的な周知啓発活動を行うことでポータルサイトの利用者を増加させていく。 | |